

第 15 回独立行政法人国民生活センター契約監視委員会会議事概要

開催日	平成 24 年 1 月 23 日（月）	
場所	独立行政法人国民生活センター東京事務所 5 階特別会議室	
出席委員氏名	委員長 高橋 京太（独立行政法人国民生活センター監事） 委員 有川 博（日本大学総合科学研究所教授） 委員 山内 容（弁護士） 委員 竹内 啓博（公認会計士・税理士） 委員 島崎 芳征（独立行政法人国民生活センター監事）	
抽出案件	4 件	（備考） ・事務局から、今回の審議対象の契約件数等について報告した。 ・抽出委員（島崎委員）から、審議対象契約について、契約方式及び内容別の件数を考慮し、一者応札となったものを中心に抽出した旨の報告があった。
（内訳）		
一般競争入札	4 件	
随意契約	0 件	
	意見・質問	回答
委員からの意見・質問、それに対する回答等	平成 23 年度第 3 四半期に契約締結した抽出案件の審議内容は、別紙のとおり	平成 23 年度第 3 四半期に契約締結した抽出案件の審議内容は、別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

(別紙)

意見・質問	回 答
<p>【事案1】放射能測定装置一式の購入</p> <ul style="list-style-type: none">・本調達と地方自治体への貸与事業とは別件か。・一者応札となった要因は把握しているか。・予定価格はどのように設定したか。・なぜ説明会を開催しなかったのか。・機器の信頼性は確保しているか。	<ul style="list-style-type: none">・本件は地方自治体の検査業務の支援と地方自治体職員を対象として実施した商品テスト技術・評価研究会において検査方法の実習等に活用するため、貸与事業に先駆けて調達したものである。・応札しなかった事業者に事情を聞いたところ、納期まで時間的な余裕がなかったことや、仕様を満たす機器の取り扱いがないとのことだった。・本件に応札できるか否かに関係なく、仕様を満たす機器を供給できる事業者から見積書を徴し、低廉なものを参考とした。・本件仕様書は機器を供給できる事業者であれば十分理解できると判断し、内容について質疑等がある場合は質問書を提出してもらい対応することとした。・参加事業者に対して事前に適合証明書等を提出させ、要求仕様を満たしているかを確認している。
<p>【事案2】平成22事業年度財務諸表の官報掲載業務一式</p> <ul style="list-style-type: none">・参加状況はどうだったか。また、参加事業者は前回とは別の事業者だったのか。・複数者から応札されていることから、今後競争性を発揮させるよう調達を行ってほしい。	<ul style="list-style-type: none">・入札資料交付は3者、応札が2者であり、応札者は前回と同様であった。・今後もこれまでと同様に調達を行いたい。

意見・質問	回 答
<p>【事案3】精密切断機一式の購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調達の必要性をどのように考えているか。 ・ 入札価格は予定価格を下回っていたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既に保有している切断機と比べ、切断による破損等を低減できることから、より精密な切断面の顕微鏡分析が可能となり、商品テストの精度向上につながると考えている。 ・ 一者は予定価格を上回っていた。
<p>【事業4】工業用内視鏡一式の購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予定価格は業者見積りを参考としたようだが、見積価格に開きがあるのはなぜか。 ・ 本件では競争性が発揮されていると思われるが、業者から定価の見積りが提出された場合は、同様な仕様の製品の市場価格をさらに調査するなどして、予定価格の設定についてぜひ工夫をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いずれも仕様を満たしていたが、それぞれ別の商品で見積もられていたためと考えられる。 ・ 今後の調達時にはご意見を踏まえ、必要に応じて検討することとしたい。